

『臨床検査』 第 32 巻 総目次

1988 年 第 1 号—第 13 号

数字は通巻頁数, () は号数

今月の主題

- 1 号 人工知能と臨床検査
- 2 号 炎症マーカーとその臨床的意義
- 3 号 迅速検査—現状と今後の動向
- 4 号 DNA 診断に必要な測定技術
- 5 号 心電図の最前線
- 6 号 免疫血液学検査法の進歩
- 7 号 病原体抗原の免疫学的検査法
- 8 号 尿中低分子蛋白の測定と意義
- 9 号 死の判定と検査
- 10 号 周産期の臨床検査
- 11 号 (増刊号)アイソザイム検査—技術と解釈
- 12 号 (11 月号)血中薬物濃度測定法の進歩
- 13 号 (12 月号)輸血に伴う感染症の検査と対策

巻 頭 言

- 炎症マーカー……………河合 忠… 117(2)
- 迅速検査と今後の医療……………大久保昭行… 233(3)
- DNA 診断技術と臨床検査……………河合 忠… 354(4)
- 心電図の歴史と将来の夢……………小沢友紀雄… 475(5)
- 免疫血液学の臨床検査……………池田 康夫… 601(6)
- 病原体抗原の免疫学的検査と迅速診断……………三輪谷俊夫… 723(7)
- 尿中低分子蛋白の臨床検査……………河合 忠… 829(8)
- 死の判定—臨床医の立場から……………小沢友紀雄… 953(9)
- 周産期の臨床検査……………河合 忠…1059(10)
- 血中薬物濃度測定法の進歩……………大久保昭行…1445(12)
- 輸血に伴う感染症の検査と対策……………池田 康夫…1573(13)

カラーグラフ

- 局所炎症反応の病理形態……………町並 陸生… 114(2)
- 体表面心臓電位図……………平柳 要・谷島 一嘉… 472(5)
- 免疫血液学検査法……………〈構成〉池田 康夫… 598(6)
- 病原体抗原の免疫学的検査法……………〈構成〉本田 武司… 720(7)
- 腎移植後の移植免疫反応……………山田 豊… 826(8)
- 胎児の超音波診断……………伊東 紘一…1056(10)
- 羊水診断……………林 研…1058(10)

総 説

- 人工知能とは—その歴史的背景と現状……………溝口 文雄… 17(1)
- 神経回路の情報処理……………永野 俊… 25(1)
- 炎症マーカーの臨床検査……………河合 忠… 118(2)
- DNA 診断……………榊 佳之… 355(4)

- 電気生理学的検査で何を知るか……………小川 聡… 477(5)
- 免疫血液学検査の進歩……………小島 健一… 602(6)
- 病原体抗原の免疫学的検査法—現状と展望……………本田 武司… 724(7)
- 尿中低分子蛋白……………河合 忠… 830(8)
- 脳死の判定基準……………塩貝 敏之・竹内 一夫… 955(9)
- 血中薬物濃度測定について……………中 恵一…1446(12)
- 血液製剤による輸血感染症……………稲垣 稔…1574(13)

技術解説

- CRP の微量測定法と問題点……………山岸 安子・妹尾よしみ
佐々木勝一・河合 忠… 122(2)
- シアル酸測定法と精度管理……………臼井 敏明… 130(2)
- 顆粒球エラスターゼ測定法と意義……………黒川 一郎・道林 勉… 135(2)
- DNA 取り扱いの基礎技術……………成松 久… 363(4)
- DNA プローブの作成法……………野島 博… 379(4)
- FAP の DNA 診断……………中里雅光・松尾 壽之… 386(4)
- ATL の DNA 診断……………中村 正孝… 391(4)
- AIDS の DNA 診断……………栗村 敬… 398(4)
- HBV の DNA 診断……………丸山 昭治… 401(4)
- 細菌感染症の DNA 診断……………吉川昌之介… 409(4)
- 心電図自動解析とデータベース……………広木 忠行… 485(5)
- 運動負荷心電図の方向……………川久保 清… 492(5)
- ホルター心電図の問題点……………勝石 勝也・中村 俊香・宗 武彦
三宅 良彦・佐藤 忠一・須階 二郎… 499(5)
- 体表面電位図の臨床的有用性……………林 博史… 506(5)
- 体表面心臓電位図の逆問題解……………平柳 要・小沢友紀雄… 513(5)
- 平均加算化心電図法……………小沢友紀雄… 519(5)
- 感作ラテックス凝集法による起因菌の検出……………久保勢津子・菅野 治重… 730(7)
- 腸管感染症起因菌の免疫学的推定法……………三宅 真実・余 明順・本田 武司… 737(7)
- ウイルス同定の免疫学的迅速検査……………畠野 靖子… 745(7)
- STD 領域で利用されている病原体抗原の免疫学的検査……………津上 久弥・松永 欣也… 754(7)
- B 型肝炎ウイルス抗原の免疫学的検査……………大堀 均・菅野 厚・角田 行… 762(7)
- 尿蛋白の電気泳動法……………渡辺 信子… 835(8)
- 尿蛋白の免疫電気泳動法……………橋本寿美子… 841(8)
- 尿蛋白の HPLC 分析……………鈴木 好文・岡田 敏夫・内記 三郎… 849(8)

脳死判定のための脳波検査	
安部倉 信・越野兼太郎・池田 卓也	965(9)
死の判定における循環器検査	
……………谷川 直・小沢友紀雄	972(9)
死後経過時間の判定……………高取 健彦	980(9)
多臓器不全の臨床検査	
……………山本 保博・大塚 敏文	987(9)
抗てんかん薬	
五味田 裕・古野 勝志・荒木 泰典	1453(12)
循環器用薬……………佐藤 友英・石川 康朗	1459(12)
抗菌薬……………中山 一誠	1466(12)
向精神薬一特に躁病・うつ病治療薬	
……………多田 昭博・全田 浩	1473(12)
テオフィリン……………中島 理・一色 玄	1478(12)
シクロスポリン……………西原カズヨ・山村 喜一	1485(12)
血中薬物濃度測定法のデザイン……………野口 英世	1494(12)

病態解説

局所炎症反応の病理形態……………町並 陸生	141(2)
局所炎症反応の生化学……………鹿取 信	146(2)
白血球増加—炎症を中心に	
……………荒木 葉子・池田 康夫	155(2)
急性期蛋白と炎症……………右田 俊介	160(2)
アミロイド蛋白と炎症—SSA 蛋白を 中心に	
山田 俊幸・下条 文武・屋形 稔	167(2)
CRP 微量測定の臨床的意義……………大谷 英樹	173(2)
シアル酸測定の臨床的意義……………上田 智	178(2)
気管支分泌液中の炎症マーカー	
北村 諭・岩永 知秋・倉富雄四郎	
小川 研一・松岡 緑郎……………	181(2)
MOF ……真辺 忠夫・野中 敦・戸部 隆吉	283(3)
DIC ……松田 保	288(3)
緊急医療と心電図 大木 清司・高野 照夫 清野 精彦・森 規勝	527(5)
頻脈性不整脈はなぜ起こるか	
……………須山 和弘・大江 透	534(5)
徐脈性不整脈はなぜ起こるか……………山口 巖	539(5)
腎移植後の拒絶反応とその早期診断	
……………山田 豊	891(8)

エキスパートシステム

抗菌薬選択支援システム—	
ANTICIPATOR ……土屋 文人	33(1)
循環管理のエキスパートシステム……………田中 博	41(1)
血液病態情報の自動解析システム	
……………松田 信義・上田 智	49(1)

検査機器・キットの進歩

生理学的検査……………小沢友紀雄・谷川 直 赤柴 恒人・小原 甲子	234(3)
血液学的検査	

遠藤 武・雨宮 憲彦・久米 章司	245(3)
輸血検査	
平野 武道・半田 誠・池田 康夫	253(3)
免疫血清検査……………西田 陽・大谷 英樹	258(3)
生化学検査—血液……………中 恵一	264(3)
生化学検査—尿……………猪狩 淳	270(3)
微生物検査……………浅利 誠志・本田 武司	277(3)

血球膜抗原の検査

赤血球膜抗原の検査	
神奈木玲児・繁田 勝美・山肩 葉子	
平島 國美・日野 明弘・銭田 晃一	606(6)
白血球膜抗原の検査……………小林 邦彦・藤田 京子	617(6)
血小板膜抗原の検査……………半田 誠・池田 康夫	624(6)
血清型の検査……………松本 秀雄・鈴木 広一	630(6)

抗体の検出

好中球抗体の検出……………倉辻 忠俊	636(6)
血小板抗体の検出	
倉田 義之・林 悟・押田真知子	
富山 佳昭・椿尾 忠博……………	641(6)
寒冷凝集素の特徴と検査法	
……………藤岡 成徳・鈴木 征子	648(6)
抗 IgA 抗体の検出……………小沢 直宏	655(6)
異好抗体の検出……………狩野 恭一	661(6)
リンパ球抗体の検出……………関口 進	669(6)

注目すべき病原体

MRSA 感染症……………横田 健	770(7)
-------------------	--------

性状・測定法・意義

β_2 -ミクログロブリン	
……………下條 信雄・中 恵一	857(8)
α_1 -ミクログロブリン……………伊藤 喜久	863(8)
リゾチーム……………仁科 甫啓	869(8)
レチノール結合蛋白	
金井 正光・勝山 努・須原 聡	875(8)
免疫グロブリンフラグメント……………大谷 英樹	886(8)

新生児の病気と検査

周産期感染症……………後藤 玄夫	1060(10)
出血性疾患……………白幡 聡	1065(10)
溶血性疾患……………久永 幸生	1073(10)
免疫不全症……………早川 浩	1079(10)
胆道閉鎖症……………松井 陽・太田 抜徳	1083(10)
新生児のカルシウムとマグネシウム	
……………竹島 俊一・清水 章	
川本 豊・藤村 正哲……………	1089(10)
呼吸窮迫症候群……………小川雄之亮	1097(10)
先天性代謝異常症	
北川 照男・大和田 操・谷本 正志	
小野 正恵・鈴木 健……………	1103(10)

奇形……………長谷川知子…1111(10)
胎盤機能不全……………桑原 慶紀…1115(10)

検査と対策

B型肝炎……………飯野 四郎…1579(13)
非A非B型肝炎……………片山 透…1585(13)
AIDS……………栗村 敬…1593(13)
抗HTLV-I抗体測定法
……………西村 要子・服部 俊夫…1598(13)
サイトメガロウイルス……………原田 実根…1605(13)
梅毒……………津上 久弥…1623(13)
輸血後敗血症……………池田 康夫…1616(13)

＜参考資料＞

汚染血液の取り扱い—血液汚染事故
防止の観点から……………池田 康夫…1631(13)

最新の機器・システム情報

エミット……………第一化学薬品(株)…1500(12)
セラライザーIIIシステム……………マイルス・三共(株)…1502(12)
コダックエクタクテムDT 60 テオフィ
リン……………長瀬産業(株)…1504(12)
デュボン aca—テストパックシリー
ズ……………デュボン ジャパン リミテッド…1506(12)
TDX システム—TDX アナライザー
/試薬……………ダイナボット(株)…1508(12)

座 談 会

臨床検査とエキスパートシステム
開原 成允・津村 宏・大久保昭行
軽部 征夫・中 恵一
＜司会＞関口 進……………4(1)
迅速検査システムの現状と将来
松尾 収二・只野壽太郎・軽部 征夫
＜司会＞大久保昭行……………294(3)
DNA 診断への展望
村松 正實・畑中 正一・高久 史麿
＜司会＞河合 忠……………416(4)
心電図検査の現状と将来
広木 忠行・小川 聡・林 博史
川久保 清・＜司会＞小沢友紀雄……………548(5)
死の判定と臓器移植
出月 康夫・竹内 一夫・高木 弘
＜司会＞大久保昭行……………994(9)
輸血感染症—最近の動向—
遠山 博・清水 勝・神谷 忠
＜司会＞池田 康夫……………1620(13)

鼎 談

周産期医学の現状と問題点
柳沼 恣・白幡 聡・大久保昭行…1122(10)
TDMの現状と将来—特にわが国に
おける問題点

大久保昭行・石崎 高志・西原カズヨ…1510(12)

特別座談会

臨床工学技士の誕生をめぐって
荒井太紀雄・河合 忠・川崎 忠行
下杉 彰男・瀬尾 攝
＜司会＞都築 正和……………441(4)

生物電気化学分析法

生物電気化学分析法—総論……………梅澤 喜夫…64(1)
生物電気化学分析の手法の基礎……………菅原 正雄…190(2)
臨床化学分析とボルタンメトリー……………碓山 義人…308(3)
イオンセンサと臨床分析……………宮城 宏行…426(4)
ISFET と臨床分析……………前田 拓巳…560(5)
酵素センサおよびその他のバイオセ
ンサと臨床検査……………戸谷 誠之…678(6)

高速液体クロマトグラフィー

臨床検査における高速液体クロマト
グラフィーの現状……………大久保昭行…780(7)
脂質リピッド……………岡崎 三代…902(8)
臨床化学的に興味をもたれる糖質
……………掛樋 一晃・本田 進…1006(9)
蛋白質およびペプチドの分析
……………加藤 弘真・吉岡 正則…1132(10)
生理活性アミン……………大倉 洋甫・能田 均…1522(12)
核酸……………沢井 宏明…1636(13)

質疑応答

〔臨床化学〕
リボ蛋白の分画処理について……………芝 紀代子…95(1)
HPLCによるアセチルコリンアミン分
画測定 of 臨床的意義……………白幡 晶…97(1)
脂中の総リン脂質簡易定量法……………岩森 正男…99(1)
容積置換とは……………高原喜八郎…213(2)
ボンソー色素の種類と染色上の注意
点……………芝 紀代子…215(2)
自動分析装置による血清リパーゼ活
性測定法の問題点
杉内 博幸・岡部 紘明・宇治 義則…335(3)
遠心分離後放置した検査でみられた
電解質の異常高値……………中 恵一…337(3)
血中フルクトサミンとその臨床的意
義……………石井 周一…339(3)
食事と採血時間による血糖検査値へ
の影響……………下條 信雄…341(3)
凍結あるいは心停止による酵素活性
値の低下……………菅野 剛史…453(4)
δビリルビンの性質と測定法
野上 清信・嶋村 賢司・中 甫…454(4)
血清でLPLが測れない理由は
……………栢森 裕三・片山 善章…456(4)

ヘモグロビンFの測定	清瀬 闊	457(4)
ICGの停滞率	南部 勝司	579(5)
H型LDH欠損症の検索について	川崎 理一・塚田 敏彦・北村 元仕	701(6)
パラコートの血中濃度の測定	和田 攻・柳沢 祐之・郭 新彪	704(6)
リポソームを用いた抗体測定法	……… 軽部 征夫・中野 安裕	807(7)
リポソームを基質としたLCAT活性の測定	……… 渋谷 陽子・岡部 紘明	933(8)
リポソームの作製について	……… 芳賀 信	935(8)
EIAにおけるマイクロプレートへの抗体の吸着	……… 高阪 彰	936(8)
肝硬変胆石症のICG検査で5分値より10分値の高い理由は	……… 浪久 利彦・臼井 康	938(8)
尿中酵素の正常値の設定	……… 北橋 繁・中 恵一	939(8)
銀染色法の注意点, 長所, 短所	……… 芝 紀代子	1037(9)
アミラーゼ測定キットの問題点	……… 大川 二郎	1040(9)
EDTA, NaFの凝固阻止の作用	……… 藤田 誠一・片山 善章	1043(9)
抗体測定における電極法の長所	……… 中野 安裕	1046(9)
シアンメトヘモグロビンアルカリ変性法“Betke法”について	……… 清瀬 闊	1163(10)
測定値の評価における誤差変動の理論的根拠	……… 桑 克彦	1164(10)
Cl電極へのハロゲンイオンの影響	……… 渡辺 文夫	1667(13)
モノクローナル抗体使用上の注意点	……… 阿部 雅明・白井 俊一	1668(13)
カルシウム結合性IgA(α)M蛋白の検索	……… 浅井 孝道	1670(13)
〔血液〕		
Large granular lymphocyte (LGL)について	……… 戸川 敦	101(1)
好酸球の増加する病態とそのメカニズム	……… 大屋敷純子・外山 圭助	460(4)
自己溶血試験の試薬について	……… 新倉 春男	581(5)
赤血球の形態と疾患	……… 新倉 春男	706(6)
血栓性疾患における血小板・凝固検査	……… 池松正次郎	810(7)
経口抗凝血薬療法のモニタリングについて	……… 磯部 淳一	811(7)
ヘマトクリット値の再現性について	……… 新谷 和夫	941(8)
〔輸血〕		
血液型検査でオモテ・ウラの不一致が生じた場合	……… 遠山 博	343(3)
後天性Bの場合のクームス試験〔一〕の理由	……… 平野 武道	707(6)

〔免疫血清〕		
EIAの標識酵素とターンオーバーナンバー	……… 上田 国寛	216(2)
補体の活性化と溶血	……… 田村 昇	218(2)
ラテックス凝集反応に高感度の抗体は?	……… 中嶋 国雄	346(3)
寒令凝集素の測定	……… 遠井 初子・浅川 英男	710(6)
EBウイルスの抗体測定法	……… 荻野 武雄	711(6)
HBs-ICの陽性化	……… 森藤 隆夫	813(7)
ATLA(成人T細胞白血病)抗体について	……… 川名 林治	815(7)
免疫固定法の長所, 短所, 注意点	……… 金光 房江	817(7)
多発性骨髄腫のMバンドの同定法	……… 伊藤 喜久	1553(12)
小児のM蛋白血症	……… 加納 正	1556(12)
ラテックス凝集法におけるASO価	……… 櫻林郁之介・和田 守史	1672(13)
ASO価測定単位U/mlの由来	……… 巴山 顕治	1673(13)
〔微生物〕		
デルタウイルスとは?	……… 白木 公康	347(3)
ニューモシスチス・カリニの検出法	……… 吉田 幸雄	461(4)
乳児ボツリヌス症の細菌学的診断法	……… 阪口 玄二	583(5)
輸入寄生虫病の現状とその検査法	……… 山浦 常・松本 克彦・和田 芳武 小林 和代・岡本 雅子・白坂 龍曠 上田 季乃	585(5)
マイコプラズマとウイルス感染の診断に用いられる術式とその抗原	……… 荒井 澄夫	1558(12)
<i>Bacillus thuringiensis</i> の鑑別と病原性	……… 品川 邦汎	1559(12)
定着因子の病原因子としての意義	……… 本田 武司・矢野トモマサ	1563(12)
消毒剤の作用機序	……… 上田伊佐雄・古橋 正吉	1675(13)
ウイルスの潜伏感染	……… 早川 安彦	1677(13)
〔臨床生理〕		
ホルター心電図の解析レポート	……… 谷川 直	220(2)
開眼時の脳波記録における基礎波の判断について	……… 山磨 康子	1166(10)
〔一般検査〕		
関節内結晶の検索について	……… 赤岡 家雄	102(1)
尿のpHと析出塩	……… 木庭 敏和・伊藤 機一	222(2)
尿沈渣におけるリン酸塩の消去法	……… 今井 宣子	223(2)
白血球と移行上皮の違い	……… 池田とみ子・伊藤 機一	224(2)
亜硝酸塩テストが陽性であるのに顕微鏡検査では細菌が認められない理由は	……… 小栗 豊子	463(4)
尿中有形成分の経時的变化	……… 今井 宣子	819(7)

冷蔵保存尿で電解質・比重などを測定するとき……………岩瀬 正子…	942(8)
ズルホサリチル酸試験で尿を赤くする物質は……………猪狩 淳…	1679(13)
〔診断学〕	
血中代謝障害物質のスクリーニング検査……………大和田 操…	104(1)
抗核抗体の診断的意義……………吉野谷定美…	464(4)
筋疾患への超音波診断の可能性……………谷口 信行・伊東 紘一…	465(4)
TAM の病態と検査所見……………野口 英郷・鞭 熙…	589(5)
MOF と臨床検査……………真辺 忠夫…	994(8)
Fibrosis と検査……………四元 秀毅…	1048(9)
無鉤条虫が人体に与える影響は……………中林 敏夫…	1170(10)
ALP の高値で何を疑うか……………豊田 幸子…	1173(10)
成人 T 細胞白血病の血液像と皮膚症状……………田口 博國…	1174(10)
〔検査機器〕	
ME 機器カタログ表示の読みかた……………小野 哲章…	106(1)
〔雑 件〕	
空中花粉の判別と飛散量の測定……………露口 泉夫…	225(2)

研 究

免疫電気向流法による抗 ENA 抗体の検討……………山田 巖・澤江 義郎…	79(1)
von Willebrand 因子のコラゲンコファクターの活性の測定法……………相原 守夫・高見 秀樹 沢田 美彦・吉田 豊…	82(1)
ゼラチン粒子凝集法による HIV 抗体スクリーニングの自動化……………関口 定美・加藤 俊明・前田 良一 深井 寛治・池田 久實…	85(1)
墨汁法とクリスタル紫による染色法を組み合わせた細胞莢膜の簡便な検出法……………荒井 美子・関 啓子・生貝 初 瀧 慶治・北村富士子・益田 昭吾…	88(1)
急性リンパ性白血病患者血清の L-アスパラギナーゼ特異 IgE 抗体測定法とその臨床的意義……………土屋 純・佐藤久美子・小河原はつ江 原 文子・村上 博和…	205(2)
新しいマクロファージ機能検査法の提唱—1. ケミルミネッセンス法によるマクロファージの Fcγ レセプター解析法への有用性……………馬島 敏郎・石田名香雄…	323(3)
慢性閉塞性換気障害の心電図診断基準の精度……………荒谷 清・坂口 陽子・井上 和子	

林 実・荒井 正夫・小村 利次 城戸 優光……………	575(5)
フローサイトメトリーによる DNA/BrdU 分析法の検討……………水野 重孝・磯部 宏 宮本 宏・川上 義和…	693(6)
セロファン表面培養法を用いた迅速・簡便な細菌産生蛋白の検出法について……………生貝 初・関 啓子・西原 祥子 村井 美代・北村富士子・荒井 美子 益田 昭吾……………	698(6)
モノクローナル抗体を用いた組織リンパ球表面抗原検出における periodate-lysine-paraformaldehyde 固定時間の影響……………設楽 保江・林 幸子 野上 重子・小池 盛雄…	795(7)
心電図自動診断装置導入に対する追加誘導の必要性に関する検討……………城山 昌代・石山 陽事 桑山美知子・中西 成元…	800(7)
プロテイン A 保有黄色ブドウ球菌の刺激による顆粒球の化学発光量を指標にした顆粒球結合抗体検出法……………竹内 直子・西原 祥子・益田 昭吾…	917(8)
指尖容積脈波による膠原病患者手指血流と指尖潰瘍との関連についての研究……………君島 弘子・角田 裕 西間木友衛・粕川 禮司…	922(8)
免疫細胞化学法とエステラーゼ染色あるいはペルオキシダーゼ染色を組み合わせた二重染色法……………鈴木美和子・新谷 和夫…	1024(9)
Bodian 染色による横紋筋の証明について……………大谷 静治・佐藤 昇志 小川 勝洋・賀来 享…	1030(9)
ブドウ球菌のプラスミド抽出法と MRSA 感染症解析への応用……………飛田 正子・中込 治・上杉 四郎…	1033(9)
ヒト末梢血単球分離法における付着剥離法と高張食塩水法の比較検討……………吉永 泰彦・西谷 皓次・山村 昌弘 波多野 誠・川端美紀子・渡辺 忠寿 鈴木 信也・太田 善介……………	1151(10)
シロ糖液を用いたクリプトスポリジウムの集オーシスト法に関する 2, 3 の検討……………宇賀 昭二・松村 武男・依田 行能 矢富 謙治・片岡 陳正……………	1155(10)
免疫溶血濁度測定法による血清補体	

価(CH50)の簡易自動化法

三浦 隆雄・小坂 諭・高野 友丈

後藤 甚作・猿田 栄助1537(12)

シアル酸の小児疾患における炎症の

パラメーターとしての検討

鈴木 清・広瀬 安之・向山 緯夫

菊池 俊実・本田 晴康1655(13)

資 料

蛍光抗体法による抗 HIV 抗体測定

キット(AIDS-IFAKIT)の検討

松田 重三・浜渦 俊和・小田島さゆり

斎藤 紀子・木下 忠俊・風間 睦美

安部 英..... 91(1)

PHA 法を用いた HSV 抗体測定キ

ットの検討.....石井 明彦・渡久地政茂

菱本 恒温・井唯 信友... 209(2)

1 ステップ EIA 法に基づく血中

NSE 測定系の基礎的検討とそ

の臨床的評価

土田 貴子・桑原 正喜・有吉 寛

須知 泰山・木村 茂樹・加藤 兼房... 329(3)

蛍光色素による各種原虫感染症の迅

速診断の試み.....川本 文彦... 803(7)

コンパクト pH メーター“CARDY”

の検討

瀬戸口一恵・津田 泉・巽 典之... 925(8)

CA130 のサンドイッチ RIA 測定系

の基礎的検討

桑原 正喜・有吉 寛・須知 泰山...1541(12)

CA130 の臨床的評価

桑原 正喜・有吉 寛・須知 泰山...1547(12)

デルフィアシステムによる血中 CA50

測定の基礎的検討

桑原 正喜・有吉 寛・須知 泰山...1661(13)

編集者への手紙

胆嚢上皮に認められたナフトール

AS-D クロロアセテートエステ

ラーゼ活性.....引野 利明・福島 辰郎

福田 利夫・町並 陸生... 449(4)

血球計数装置の較正.....巽 典之・津田 泉... 451(4)

染色体標本の作りかたートリプシン

を用いた G-分染法

西田 俊朗・湧井 敬子・山岸 彰

伊藤 武・稲葉 俊哉・山本 圭子... 777(7)

血清 LDH アイソザイム分画比の季

節的変動について

今木 雅英・三好 保・松本 和興

北小路 学・山田 勇樹・棚田 昌俊

中川 洋一・山崎 亮治・伊藤 里美

勢井 雅子..... 928(8)

増刊号・11 号〈アイソザイム検査—技術と解釈〉

カラー図

プロテインキナーゼ C アイソザイム

.....田中千賀子・平田みどり...1184

肝疾患の GGT アイソザイム像

.....吉川智加男・中 恵一...1186

I 総 論

1 アイソザイムの分析技術の明日

齋藤 拓・春名 孝彦・内田 浩二

田中 俊夫・山縣 孝樹・紀平 安則

山内 惇一・藤井 克美・堀尾 武一...1188

2 アイソザイム検査の臨床的意義 ...村地 孝...1198

3 酵素アノマリー菅野 剛史...1201

4 赤血球内酵素のアイソザイム藤井 寿一...1206

5 凝固・線溶系の酵素

.....高松 純樹・斎藤 英彦...1212

II 各 論

1 N-アセチル- β -D-グルコサミニダ

ーゼ芝 紀代子・古畑 紀子...1222

2 酸性ホスファターゼ 倉田 義之・金山 良男...1233

3 アデノシンデアミナーゼ倉田 矩正...1238

4 アラニンアミノトランスフェラーゼ

.....亀井 幸子...1243

5 アルコール脱水素酵素若杉 長英...1248

6 アルドラーゼ浅香 正博...1254

7 アルカリ性ホスファターゼ坂岸 良克...1262

8 アミラーゼ平沢 豊・竹内 正...1272

9 アルギナーゼ池本 正生・戸谷 誠之...1280

10 アリルアミダーゼ関 知次郎...1287

11 アスパラギン酸アミノトランフェ

ラーゼ

和田 博・堀尾 嘉幸・寺西 啓容...1291

12 コリンエステラーゼ

松田 信義・松田貴美子・上田 智...1300

13 クレアチンキナーゼ

高木 康・鶴澤 龍一・五味 邦英...1309

14 シスチンアミノペプチダーゼ

.....中根 清司・高阪 彰...1316

15 エラスターゼ黒川 一郎・道林 勉...1321

16 グルコース-6-リン酸脱水素酵素...三輪 史朗...1329

17 β -D-グルクロニダーゼ.....篠原 兵庫...1334

18 γ -グルタミルトランスフェラーゼ

吉川智加男・中 恵一・大川 二郎...1339

19 グアナーゼ伊東 進・松田 佳子...1346

20 ヘキソキナーゼ奥田 潤・三輪 一智

豊田 行康・前田 和男...1351

21 イソクエン酸脱水素酵素飯島 克巳...1356

22 乳酸脱水素酵素塚田 敏彦...1362

23 ロイシニアミノペプチダーゼ村井 哲夫...1370

24 リパーゼ岡部 紘明・宇治 義則...1377

25	リボ蛋白リパーゼ	野間 昭夫	1383
26	リンゴ酸脱水素酵素	松本宏治郎	1390
27	モノアミノオキシダーゼ	中野 博・山本 泰朗	1394
28	5'-ヌクレオチダーゼ	保崎 清人	1399
19	ペプシノゲン	景山 節	1403
30	ホスホフルクトキナーゼ	山崎 知行・中島 弘 河野 典夫・垂井清一郎	1409
31	ホスホグルコムターゼ	佐藤千代子・高橋 規郎	1415
32	ピルビン酸キナーゼ	谷 憲三朗	1422
33	トリプシン	森 治樹	1430
34	キモトリプシン	菅野健太郎	1434
[わだい]			
糖鎖の分解・合成にあずかる酵素をめぐ			
	る謎	永井 克孝	1217
	耐熱性酵素	富田 耕右	1218
	注目される糖質, 糖脂質	織田 敏次	1220
	無カタラーゼ血症	緒方 正名	1247
	プリン代謝系酵素異常と先天性免疫不全	伊藤 和彦	1279
	最適測定法への方法論	関 知次郎	1286
	システインプロテアーゼ	木南 英紀	1338
	シオクロムム _h レダクターゼ異常と遺伝		
	性メトヘモグロビン血症	竹下 正純	1345
	動物における赤血球酵素異常	前出 吉光	1389
	クレアチニンの分析に有用な新しい酵素		
	反応	清水 昌・山田 秀明	1398
	慢性肉芽腫症の食細胞酵素異常		
		田中 寅彦・石村 異	1408
	血小板のエネルギー代謝と酵素	西村 純二	1414
	癌細胞が産生するアルカリホスファター		
	ゼ	飯野 四郎	1429
お知らせ			
	第六回国際アイソザイム会議の開催		1361
	索引(欧字索引, 酵素番号別索引)		1439
	編集後記		1440

TOPICS

水痘ウイルス皮内反応の臨床応用	白木 公康	68(1)
下痢原因菌としての <i>Clostridium</i>		
<i>sordellii</i>	中村 信一	68(1)
肝臓病診断に新手法—血清 ASS の		
定量	佐伯 武頼・市来 斉	69(1)
LAK 細胞	笠倉 新平	70(1)
生体指標としてのヒトリンパ球 SCE		
	永谷 照男	71(1)
圧電素子を用いるバイオセンサー	村松 宏	72(1)
NMR による尿分析	山口 修一	73(1)
フィラグリニン	手塚 正	74(1)

IgG サブクラス欠乏症	井関 幹郎	75(1)
IBL-like T-cell Lymphoma	本告 匡	76(1)
ヒートショックプロテイン		
	大坪 俊雄・斎藤 等・新田 和美	
	古家 雅代・加納 永一	77(1)
プリオン蛋白	北本 哲之	199(2)
IgE・Fc レセプター (FcεR)		
	細田 雅也・淀井 淳司	199(2)
<i>Campylobacter pylori</i>	井上 宏之	200(2)
半導体を用いるバイオセンサー	後藤 正男	201(2)
HB ウイルス感染後の免疫反応	大久保昭行	202(2)
EGF レセプターと発癌遺伝子	内村 英正	203(2)
経食道的心房電位記録と心房ペーシ		
ング	桜田 春水	316(3)
洞結節電位の記録法	伊藤 敬・松本 進作	316(3)
心室遅延電位	谷川 直・小沢友紀雄	318(3)
好酸球産生の調節因子—IL 5 につ		
いて	三浦 恭定	319(3)
前立腺癌のマーカーとしての前立腺		
特異抗原	岩動孝一郎	320(3)
アメリカの診断群別支払い制度		
(DRG)	紀伊國献三	321(3)
マイクロ酵素センサーの開発状況	板倉 英治	322(3)
ウイルスの新しい高感度検出法	水谷 裕迪	435(4)
宇宙飛行のための検査	関口 千春	435(4)
ナトリウム, カリウムイオン電極の		
最近の動向	石川 雅子	437(4)
糖尿病性腎症の早期診断—尿中微量		
アルブミン測定	中野 安裕	437(4)
テレハートナー	小沢友紀雄	438(4)
新しい生体情報“ネオプテリン”	中 恵一	439(4)
Adversive seizure の局在診断的価		
値	野沢 胤美	568(5)
急性 B 型肝炎の感染源の変化	鶴沼 直雄	569(5)
中枢神経系における甲状腺ホルモン		
レセプター	内村 英正	570(5)
<i>Propionibacterium acnes</i> とサルコ		
イドーシス	滝沢 始	571(5)
B 型肝炎・e 抗原の血中出現のメカ		
ニズム	丸山 昭治	572(5)
ESR 顕微鏡	池谷 元伺	573(5)
AIDS ウイルスの不完全粒子	生田 和良	574(5)
パルボウイルス感染と伝染性紅斑	荻野 武雄	684(6)
高 IgE 症候群	柴田瑠美子	684(6)
S-100 蛋白	高橋 聖之	685(6)
ウェルシュ菌の産生する主要毒素	櫻井 純	686(6)
血小板の保存性	影岡 武士	687(6)
Hypereosinophilic syndrome	外山 圭助	688(6)
オステオカルシン	山本 英明	689(6)
カルジオインテグラム (CIG)	石山 陽事	690(6)
携帯型左心機能連続監視装置	今井 嘉門	692(6)
DNA リガーゼ I の欠損	藤川孝三郎	787(7)

ビリルビンオキシダーゼと黄疸病態	
……………井上 正康・杉 和洋…	787(7)
テトラヒドロイソキノリン……………	永津 俊治… 788(7)
低浸透圧造影剤ヘキサブリックス	
320の臨床的特長……………森川 惇二…	790(7)
気道過敏性と受容体(Substance P)	
……………真野 健次…	791(7)
心電図自動解析データ保存における	
光ディスクの応用……………広木 忠行…	792(7)
MHC 遺伝子と抗原……………神田 享勉…	793(7)
チオシアン酸イオンと喫煙量……………	恵一… 794(7)
低尿酸血症……………西田 秀太郎…	911(8)
アンギオテンシン変換酵素(ACE)	
……………細田 裕・鎌石 和男…	912(8)
マロンジアルデヒド……………三田村 健…	913(8)
グルタミルリボース-5-リン酸蓄積	
症……………斎藤伊三雄・上田 國寛…	914(8)
糖尿病におけるミクロアルブミン尿	
の臨床病理学的意義……………菊池 方利…	915(8)
不整脈に対する ablation ……………桜田 春水…	916(8)
オステオポロシス患者の edidro-	
nate 療法 ……………中村 哲郎・折茂 肇…	1013(9)
アルコール性肝障害と甲状腺機能…庵 政志…	1014(9)
電気クロマトグラフィー……………津田 孝雄…	1015(9)
<i>Vibrio vulnificus</i> の病原因子; 溶	
血毒の最近の見聞……………山本耕一郎…	1016(9)
ブドウ球菌性表皮剥脱素	
……………町田 勝彦・桜井 進…	1017(9)
成長が認められるにもかかわらず	
GH が従来法では測定域以下の	
場合……………中井 利昭…	1018(9)
C-erbA 蛋白は甲状腺ホルモンのレ	
セプターか……………内村 英正…	1019(9)
金属による接触皮膚炎の増加と検査	
の対応……………中 恵一…	1020(9)
らいワクチンの現況……………牧野 正直…	1143(10)
サイトカインと疾病のかかわり……………丸山 昭治…	1144(10)
イノシトールリン脂質……………並河 徹…	1145(10)
ピトロネクチンの構造と機能	
……………赤間 高雄・河野 一郎…	1146(10)
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌	
(MRSA) ……………網野 信行・浅利 誠志…	1147(10)
コレラワクチン開発に関する最近の	
話題……………本田 武司…	1148(10)
Magnetoencephalogram(脳磁図)…石山 陽事…	1149(10)
補体反応抑制因子 IF 5 ……………岡田 則子…	1529(12)
イディオタイプ-抗イディオタイプ	
ネットワーク……………丸山 昭治…	1530(12)
ヒスタミンのイムノアッセイ……………三田 晴久…	1531(12)
うつ病の脳波像……………森 隆夫…	1532(12)
パリアントアルブミン……………藪 由紀子…	1533(12)
クリプトスポリジウム症……………井関 基弘…	1535(12)

カドヘリン分子群……………服田 昌之…	1536(12)
インヒピン……………宮本 薫…	1645(13)
α -ガラクトシダーゼ A 欠損症 ……辻 省次…	1646(13)
モルフィンの化学発光検出	
……………福島 和昭・内田 和秀…	1647(13)
Refetoff 症候群 ……………高松 順太…	1648(13)
血清ドーパミン- β -水酸化酵素	
……………大石 武・石村 泰子…	1649(13)
Mendelson 症候群 ……石井 芳樹・北村 諭…	1650(13)
カルシトニン遺伝子関連ペプチド…後藤 勝年…	1651(13)
シアリドーシス……………岡田伸太郎…	1652(13)
ポリメレースチェーンリアクション	
を用いた遺伝子増幅法とその応	
用……………斎藤 一郎・伊藤 機一…	1653(13)

私のくふう

多目的処理のための電顕-硬化プロッ	
クのトリミング方法	
引野 利明・阿部 倫子・福島 辰郎	
福田 利夫・町並 陸生……………	452(4)
大型標本の Bodian 染色用, 容量可	
変型染色バット	
大谷 静治・山懸 恵・金沢 仁幸…	547(5)
コーニング・アイソザイムフィルム	
の透明化……………代々木清路・香川 正博…	930(8)
一定量の尿沈渣作成法……………黒河 和彦…	1082(10)
旧型 UMSP(UNIVERSAL MICRO-	
SPECTROPHOTOMETER) の	
コンピュータ化	
庄野 正行・石田富士雄・宮本 博司	
今木 雅英・伊藤 里美・田中 達治	
山田 正興 ……………	1654(13)

書 評

『今日の検査指針』……………山中 學…	24(1)
『今日の検査指針』……………柴田 進…	154(2)
新臨床検査技師講座・5『病理学・	
病理組織細胞検査』第2版……………高柳 尹立…	305(3)
新臨床検査技師講座・11『微生物学	
・臨床微生物学』第2版……………竹森 紘一…	334(3)
新臨床検査技師講座・12『臨床免疫	
学』第2版……………竹中 道子…	362(4)
新臨床検査技師講座・7『臨床生理	
学』第2版……………本間伊佐子…	415(4)
『臨床医学研究序説 方法論と倫理』	
……………川上 武…	484(5)
『組織学カラーアトラス』……………井手 千束…	660(6)
『臨床医学研究序説 方法論と倫理』	
……………小坂 樹徳…	676(6)
『組織学カラーアトラス』……………石川 春律…	753(7)
『薬と検査成績』……………猪狩 淳…	778(7)
『今日の診断指針』第2版……………塚本 玲三…	856(8)

『教科書では知り得ない免疫血液学 (輸血)の知識』……………戸澤 秀樹…	862(8)
『臨床医学研究序説 方法論と倫理』 ……………上田 敏…	900(8)
“Atlas of Blood Cells; Function and Pathology” ……………高久 史磨…	993(9)
『肺癌の生検と細胞診』……………沢田 勤也…	1004(9)
『血液の話 その病気と治療』…………池田 康夫…	1078(10)
『最新免疫研究法』……………河合 忠…	1096(10)
『現代免疫学』……………菊地 浩吉…	1121(10)
『現代免疫学』……………狩野 庄吾…	1578(13)
『最新免疫研究法』……………野本亀久雄…	1596(13)
『最新免疫研究法』……………高久 史磨…	1597(13)
『肺癌の生検と細胞診』……………建石 龍平…	1634(13)

海外文献紹介

患者の傍らでの臨床検査……………吉野 二男…	62(1)
医師の診療室での検査の法的規則…吉野 二男…	62(1)
診療室での検査の責任者……………吉野 二男…	62(1)
自己輸血……………吉野 二男…	94(1)
血液型判定に用いる生理食塩水…吉野 二男…	94(1)
血液型判定の自動化機械……………吉野 二男…	94(1)
持続的心室頻拍と突然死の予想に関 する新しい非観血的指標……………谷川 直…	134(2)
慢性心房細動患者の運動能力に及ぼ す β ブロッカーの効果 ……………谷川 直…	134(2)
精神病患者の臨床検査……………吉野 二男…	145(2)
検査技師が患者、看護婦などの間の 連絡……………吉野 二男…	145(2)
高血圧患者の左室肥大の減少に関す る時間経過……………谷川 直…	188(2)
年齢と弁逆流の関係; パルスドブラ 法による検討……………谷川 直…	188(2)
家族内の血清カルシウムの異常値…吉野 二男…	197(2)
慢性肝炎に高カルシウム血症…………吉野 二男…	197(2)
正中神経刺激時の短潜時体性感覚誘 発電位の双極誘導記録……………小島 進…	244(3)
人の脊椎・皮膚下体性感覚誘発電位 への運動の影響……………小島 進…	244(3)
腎移植後の視覚誘発電位の変化…小島 進…	257(3)
菌血症と低カルシウム血症……………吉野 二男…	287(3)
リチウム治療による高カルシウム血 症……………吉野 二男…	287(3)
血漿のカルシウム測定値……………吉野 二男…	304(3)
食欲異常者の高アミラーゼ血症…吉野 二男…	304(3)
アシドーシスの患者に高アミラーゼ 血症……………吉野 二男…	304(3)
ホルター心電図施行中の突然死…谷川 直…	512(5)
十二指腸液のアミラーゼアイソザイ ム……………吉野 二男…	518(5)
アミラーゼアイソザイムの測定…吉野 二男…	518(5)
狭心症におけるウォームアップ現象	

について……………谷川 直…	558(5)
左脚ブロックの体表面電位図…………谷川 直…	558(5)
心筋梗塞とマグネシウム……………吉野 二男…	629(6)
偽の高カリウム, 偽の低カルシウム 血症……………吉野 二男…	647(6)
急性心筋梗塞と血清マグネシウムと カリウム……………吉野 二男…	647(6)
急性心筋梗塞の後のプレアルブミン と CRP ……………吉野 二男…	647(6)
CRP の迅速簡易測定法 ……………吉野 二男…	729(7)
急性中耳炎のときの CRP ……………吉野 二男…	761(7)
急性反応期における白血球凝集と CRP ……………吉野 二男…	761(7)
CRP の迅速半定量法 ……………吉野 二男…	769(7)
培養検査陽性となる尿検体のふるい 分け……………吉野 二男…	785(7)
尿の細菌検査の経済性……………吉野 二男…	785(7)
尿のもつ抗菌作用……………吉野 二男…	799(7)
細菌尿検査の試験紙によるふるい分 け……………吉野 二男…	839(8)
LD1 アイソザイムの電気泳動法と 免疫法との比較……………村上 賢二…	847(8)
LD アイソザイムコントロール血清 の安定性……………村上 賢二…	847(8)
拡張型心筋症の剖検例の検討…………谷川 直…	931(8)
房室ブロックにおける拡張期房室弁 逆流の検討……………谷川 直…	931(8)
冠動脈硬化性病変に対する寒冷刺激 試験の影響……………谷川 直…	931(8)
正中神経刺激時の体性感覚誘発電位 における N20 成分の状態依存性 変化……………小島 進…	932(8)
辺縁系の誘発電位と最近の記憶との 関連……………小島 進…	932(8)
脳死患者の正中神経刺激皮質下体性 感覚誘発電位の経時変化…………小島 進…	932(8)
重度脳損傷昏睡患者の脳波と誘発電 位……………小島 進…	979(9)
多発性硬化症の聴性脳幹誘発電位潜 時のパラメトリック・スケール ……………小島 進…	979(9)
シクロスポリンAのサンプリング法 ……………村上 賢二…	1011(9)
尿ミクロアルブミンの免疫比濁法…村上 賢二…	1088(10)
人の発火する運動ニューロンに対す る反回抑制……………小島 進…	1114(10)
小児の多血症……………吉野 二男…	1120(10)
新生児の動脈のヘマトクリット…吉野 二男…	1120(10)
白血球の凝集現象を全血で検査…吉野 二男…	1154(10)
EDTA による血小板容積の変化 …吉野 二男…	1154(10)
新生児のヘマトクリットと血液粘稠 度……………吉野 二男…	1159(10)

小児の高カルシウム尿症……………吉野 二男…1159(10)	
腹水中の細菌検査にカルチャーボト ル……………吉野 二男…1484(12)	
特異性好酸球増多症候群……………吉野 二男…1493(12)	
尿検体保存運搬容器と検査結果……………吉野 二男…1493(12)	
尿の防腐保存剤……………吉野 二男…1499(12)	
経皮的冠動脈血管形成術(PTCA)― NHLBI 登録……………谷川 直…1603(13)	
新生児の血糖値……………吉野 二男…1615(13)	
血清と血漿による化学検査成績の比 較……………吉野 二男…1615(13)	

その他

〔学会印象記〕

第34回日本臨床病理学会総会……………田畑 勝好…58(1)	
……………菅野 治重…59(1)	
第62回日本感染症学会総会……………菅原 和行…776(7)	
第27回日本ME学会大会……………小野 哲章…840(8)	
第29回日本臨床細胞学会総会……………藤井 雅彦…848(8)	
第7回韓日臨床病理学会議……………小栗 豊子…868(8)	
第38回電気泳動学会春季大会……………藤田 清貴…874(8)	
第37回日本臨床衛生検査学会	
臨床化学部門から……………金光 房江…1021(9)	
一般検査部門から……………木庭 敏和…1022(9)	
病理検査部門から……………福地かおり…1023(9)	
第18回国際医学検査学会総会……………秋山 昭一…1160(10)	
……………嶋村 佳央…1161(10)	
第3回臨床検査の自動化と新技術に 関する国際会議……………亀井 幸子…1519(12)	
第20回日本臨床検査自動化学会 ……………前川 清…1520(12)	
第4回アジア太平洋臨床化学会議……………戸谷 誠之…1584(13)	
第7回国際臨床酵素学会議……………岡部 紘明…1604(13)	

〔お知らせ〕

第25回日本脳波・筋電図技術講習会……………60(1)	
「総合臨床検査講座」ご案内……………61(1)	
細胞診スクリーナー養成所募集要項(1988年度)……………90(1)	
『市販抗血清、抗原、制限酵素、実験動物の一 覧表(12)』の頒布について……………166(2)	
1988年度先天性副腎過形成症検査技術者研究会……………197(2)	
第9回ホルター心電図研究会……………269(3)	
第57回(関東)・第58回(関西)二級臨床病理技 術士資格認定試験実施要領(昭和63年度)……………306(3)	
第66回一般臨床検査士資格認定試験実施要領 (昭和63年度)……………306(3)	
第10回中毒研究会……………408(4)	
青年海外協力隊1988年度春の募集要項……………450(4)	
第8回腫瘍マーカー研究会……………498(5)	
昭和63年度北里大学衛生学部公開講座：組み	

換えDNA実験技術講習会……………533(5)	
昭和63年度臨床病理学研究振興会研究奨励金 授与候補者の推薦ご依頼……………623(6)	
第4回医学・生物学電子顕微鏡技術研究会・学 術講演会……………654(6)	
『検査と技術』増刊号「免疫化学検査法」……………675(6)	
第28回臨床肺機能講習会……………682(6)	
第3回臨床検査の自動化と新技術に関する国際 会議……………867(8)	
第2回日本臨床検査標準協議会・学術集会……………885(8)	
第7回国際臨床酵素学会議……………929(8)	
アポリポ蛋白・サーベイ参加の募集……………1003(9)	
第21回細胞検査士資格認定実施要領 (昭和63年度)……………1029(9)	
昭和63年度一級臨床病理技術士第33回資格認 定試験実施要領……………1095(10)	
青年海外協力隊員1988年度秋の募集要領……………1110(10)	
臨床病理技術士資格制度……………1176(10)	
第4回国際小児検査医学会議……………1472(12)	
昭和63年度臨床病理学研究振興会研究奨励金 交付研究者決定……………1484(12)	
第15回臨床化学検査に関する冬期セミナー……………1527(12)	
第18回日本脈管作動物質学会……………1594(13)	
第3回サンプリング研究会……………1592(13)	
〔表紙写真〕……………玉井 誠一	
グラム陽性球菌を貪食した多核巨細胞……………(1)	
小脳Dysplastic gangliocytomaのMRI(T2 強調)像と組織像(HE染色)……………(2)	
リンパ節腫脹、高免疫グロブリン血症で発症し た多発動脈炎の組織像(マロリー染色)……………(3)	
褐色細胞腫の組織像(Zenker液固定, HE染色)……………(4)	
Pseudoachondroplasiaの組織像(PAS染色) と電顕像(4800倍)……………(5)	
本態性(特発性)血小板血症と思われる症例の骨 髄生検組織像(HE染色)……………(6)	
梅毒病巣部の <i>Treponema pallidum</i> (免疫組織 化学的染色像)……………(7)	
Zollinger-Ellison症候群を示した膵島腫瘍の 組織像(HE染色)ならびに抗ガストリン 抗体による免疫組織化学的染色像(ABC法)……………(8)	
左胸膜悪性中皮腫の肉眼像と胸水細胞像……………(9)	
骨のPaget病の組織像(HE染色像, 鍍銀染色 像)……………(10)	
いわゆる“null cell”下垂体腺腫の頭蓋骨側面単 純X線像とその組織像(脱灰後HE染色)……………(12)	
上皮小体腺腫の穿刺細胞像(Papanicolaou染 色像)……………(13)	
〔その他〕	
第20回“私のくふう賞”発表……………293(3)	